

日誌 (昭和33年8月)

【国内】

- 6日 ○本行、英ポンド表示外国為替引当貸付利率を引下げ (日歩1銭1厘5毛を1銭5毛へ)
- 13日 ○本行、米ドル表示外国為替引当貸付利率を引上げ (日歩3厘を3厘5毛へ)
- 14日 ○外国為替銀行、米ドル・ユーザンス金利を引上げ (年利3.75%以上を3.875%以上へ)
○政府、英ポンドの大蔵大臣売買相場を変更 (変更幅を裁定相場の0.75%から1%へ)
- 15日 ○政府、対共産圏禁輸を緩和
- 16日 ○本行、米ドル表示外国為替引当貸付利率を引上げ (日歩3厘5毛を4厘5毛へ)
- 20日 ○本行、米ドル表示外国為替引当貸付利率を引上げ (日歩4厘5毛を5厘へ)
○本行、英ポンド表示外国為替引当貸付利率を引下げ (日歩1銭5毛を1銭へ)
- 21日 ○外国為替銀行、米ドル・ユーザンス金利を引上げ (年利3.875%以上を4.5%以上へ)
○外国為替銀行、英ポンド建邦銀ユーザンス金利を引下げ (年利8.125%以上を7.875%以上へ)
○外国為替銀行、英ポンド現地貸付金利を引下げ (年利6.75%以上を6.25%以上へ)
○政府、大蔵大臣名義英ポンド外貨預金金利を引下げ (年利3%を2.5%へ)
- 26日 ○本行、国際復興開発銀行の融資円により決済される輸出関係の所要資金に輸出前貸手形制度を適用
- 29日 ○外国為替銀行、米ドル・ユーザンス金利を引上げ (年利4.5%以上を4.75%以上へ)
○本行、ワシントン輸出入銀行との第8次綿花借款契約に調印

【海外】

- 3日 ○毛沢東・フルシチョフ会談終る (北京において)
- 5日 ○米国連邦準備制度理事会、株式証拠金率を50%から70%へ引上げ
- 6日 ○アイゼンハワー大統領、国防再編成法案に署名
- 10日 ○レーニン記念ヴォルガ水力発電所 (クイブイシェフ発電所) 操業開始
- 12日 ○デイロン米国務次官、米州開発機関設立計画に賛意表明
- 13日 ○アイゼンハワー大統領、国連総会において中東経済開発機関提案
- 14日 ○英蘭銀行、公定歩合を5%から4.5%へ引下げ
- 15日 ○サンフランシスコ連銀、公定歩合を13%から2%へ引上げ
○デンマーク国民銀行、公定歩合を5%から4.5%へ引下げ
○ココム禁輸リスト緩和発表
- 18日 ○ラオス・サナニコン新内閣成立
- 20日 ○アイゼンハワー大統領、互惠通商法4か年延長法案に署名
- 21日 ○国連総会終る (アラブ10か国共同決議案可決)
- 22日 ○ダラス連銀、公定歩合を13%から2%へ引上げ
○オランダ銀行、支払準備率を9%から10%へ引上げ
- 23日 ○沖繩高等弁務官、B円軍票を米ドルに切り替える旨声明
- 24日 ○米国第85議会第2会期閉会
- 25日 ○英国物価・生産性および所得委員会、第2次報告書を発表
○対印債権国代表者会議開催
- 26日 ○アトランタ連銀、公定歩合を13%から2%へ引上げ
○アイゼンハワー大統領、IMF、世界銀行の資力増加および第2世銀の構想に関し政策発表
○英国ミッドランド銀行、新消費者金融計画を発表
- 28日 ○ベルギー国立銀行、公定歩合を3.75%から3.5%へ引下げ
- 29日 ○カンサスシティ連銀、公定歩合を13%から2%へ引上げ